

門司港にスマホ撮影に特化した

「縦書き」ロゴオブジェが誕生しました！

観光の重点エリアである「門司港レトロ地区」において、スマホでの撮影に特化した全国でも珍しい「縦書き」のロゴオブジェを令和8年3月31日（火）に設置します。

写真撮影だけでなく、角度によって「漢字」と「ひらがな」が入れ替わる仕掛けもぜひ楽しんでいただければと思います。

本オブジェ設置を通じて、門司港レトロの新たなフォトスポットとしての認知度向上を図るとともに、来訪者による自発的な SNS 投稿を促進し、更なる誘客に繋げてまいります。



Point1 「スマホ縦撮り」を意識した、全国でも珍しい「縦書き」デザイン

近年の SNS 利用の変化を踏まえ、“縦型コンテンツ”の需要増加に対応した設計。

特に若い世代や女性の意見を参考に、スマートフォンでの撮影を意識した縦型デザインを採用しています。

Point2 関門海峡&門司港レトロの街並みの2大パノラマを背景に！

見る角度で表情を変える「だまし絵」のような視覚体験

2面から撮影可能な仕様！撮影位置や構図に応じてさまざまな表情を楽しむことができます。

特定の角度からは重厚な漢字の「門司港」、別の角度からは親しみやすいひらがなの「もじこう」として現れます。1つのモニュメントで、異なる2つの旅の思い出を演出できます。

【漢字 ver】：関門海峡・関門橋をバックにしたダイナミックな構図

【ひらがな ver】：旧門司税関などレトロな街並みを背景にした大正ロマンな構図

Point3 バナナの叩き売り発祥の地を象徴する「黄色」

「バナナ」や「郵便ポスト」をイメージした「黄色」にすることで、レトロ地区の落ち着いた街並みの中で、ひと際目を引くアクセントカラーにしました。

モニュメント諸元

設置日：令和8年3月31日（火）15～16時頃（予定）

設置場所：門司港西海岸1号物揚場（プレミアムホテル門司港前）

サイズ：高さ1,892mm／幅580mm（「門司港」面）／奥行320mm（「もじこう」面）

仕様：SUS（ステンレス）製、フッ素塗装仕上げ

カラー：黄色（日塗工番号：25-80P）



設置の狙い

昨年3月にグランドオープン30周年を迎えた門司港レトロは、「海峡を楽しむまち“門司港レトロ”」をテーマに、関門連携を一層強化し、エンターテインメント性の高い観光地へと進化を続けています。

本オブジェは、関門海峡や対岸の下関を一望できるロケーションや門司港レトロな街並みを活かし、来訪者が思わず写真を撮りたくなるフォトスポットとして設置するものです。

来訪者が撮影した写真がSNSを通じて世界中に拡散されることで、「門司港」の名称と景観の魅力を世界中へリアルタイムで発信していただく仕組みを強化してまいります。

（参考）北九州市が設置したロゴオブジェ

・門司港レトロ地区（鎮西橋公園）



・高塔山



【問い合わせ先】

都市ブランド創造局インバウンド課

TEL：093-482-1951

担当：綾部（係長）、小島（課長）